

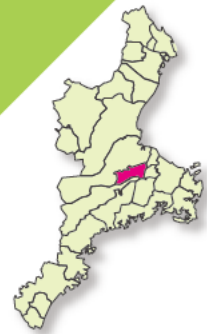


丹生にゅうの水銀すいぎん

な

奈良ならの大仏だいぶつ
丹生にゅう水銀すいぎん

多気町たきちょう



丹生にゅうの水銀すいぎん

多気町たきちょうの丹生にゅうからは、水銀すいぎん銻石こうせきの辰砂しんしゃが産出さんしゅつされていました。辰砂しんしゃや、それからつくられる水銀すいぎんは有毒ゆうどくですが、薬くすりとしても使つかわれており、古代こだいには伊勢国いせのくにから朝廷てうていに献上けんじやうされていました。奈良時代ならじだいには、東大寺とうだいじの大仏だいぶつの金メッキきんめっきの大部分たいうぶんに丹生水銀にゅうすいぎんが使つかわれ、約2tやく2とんもの水銀すいぎんが奈良ならまで運はこばれました。

【教材「三重の文化」P44】